事例No.	2744
公表年度	R5
団体の属性	町村
団体名	徳島県上勝町

事例区分	行政改革

タグ	・新たな政策手法の確立・活用 ・地域運営組織

事例種類	新たな政策手法の確立

事例内容・タイトル

持続可能なまちづくり
～ゼロ・ウェイストタウン上勝の取組～

出典

令和３年度ふるさとづくり大賞事例集

chapter 01



最優秀賞

持続可能なまちづくり

～ゼロ・ウェイストタウン上勝の取組～

徳島県上勝町（かみかつちょう）



取組の概要

上勝町ではかつてごみを野焼き処分しており、その後焼却炉を設置したが、法改正により閉鎖せざるを得なくなった。経済と環境にローコストで持続可能なごみ処理を模索した結果、未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水を残していくため、住民主体の多分別資源化による環境負荷の軽減や処理費の削減を図った。結果リサイクル率は 80% を超え、環境先進地として世界中から注目を集めることになりゼロ・ウェイストをコンセプトとした起業や移住者の誘致に繋がっている。

取組のプロセス

1997年 → **きっかけ**

県からごみの不適正処理をやめるよう指導を受け、経済負担や環境負荷の削減を図り、未来の子どもたちにきれいな空気やおいしい水を残すために分別回収を開始

・ニューヨーク・セントローレンス大學教授ポール・コネット氏が上勝町の分別の取組を知り、「ゼロ･ウェイスト宣言」を提案される

1997年～ → **「ごみステーション開設」**

・容器包装リサイクル法施行に伴い、９分別を開始
・2001 年焼却炉閉鎖と共に 35 分別（翌年から 34 分別）



2003年～ → **「ゼロ・ウェイスト宣言」**

・廃棄物の適正処理による環境負荷の軽減や、未来の子どもたちへきれいな空気とおいしい水を残すために、日本の自治体で初めてゼロ・ウェイスト宣言を発表



・ゼロ・ウェイストを推進し、情報発信を担う組織、NPO 法人ゼロ・ウェイストアカデミー発足

2006年～ → **リユースの取り組み**

・「不要になったけど、まだまだ使える物」を持ち込み、誰でも持ち帰ることができる「くるくるショップ」開設
・上勝のおばあちゃんたちが不要になった布や綿などからリメイク商品を作り販売する「くるくる工房」を 2007 年開設
・基金を利用し、リユース食器を購入し無料で貸し出す「くるくる食器」を 2008 年開始



2013年～ → **雑紙ポイントキャンペーン開始**

・焼却ごみによく混ざっていた雑紙を「救出」し、資源回収により生じる収益を住民に還元
・対象のごみを集めるとポイントがたまり､環境に配慮した商品と交換するサービス（後に「ちりつもポイントサービス」に改名）



・資源分別ガイドブックを制作・全戸配布し、町の取り組みを共有

2017年～ → **さらなる取り組み**

・「ゼロ・ウェイスト認証」及び「町内小売店での量り売り」開始
・布おむつの支給
・ゼロ・ウェイストブランドを活用した事業の実施



2020年～ → **新「ゼロ・ウェイスト宣言」**

・そもそもごみを生み出さない仕組みづくりや環境教育･人材育成を重点目標とする。

今後の展望

- **環境と経済が学べる人材育成プログラムづくり**
- **住民の分別に対する負担意識の軽減**
- **生産者や大学、研究機関との連携によるごみにならないものづくりの実証実験**
- **上勝町ゼロ・ウェイストセンターを活かした国内外への情報発信と仲間づくり**

DATA

事例名：『持続可能なまちづくり～ゼロ・ウェイストタウン上勝の取組～』
　　徳島県上勝町
所在地：徳島県勝浦郡上勝町大字福原字下横峯３番地１
連絡先：TEL　0885-46-0111
　　FAX 0885-46-0323
　　E-mail kikaku@kamikatsu.i-tokushima.jp
ホームページ：https://zwtk.jp/

